

本を選ぶ



高校図書館版



NO.79

2025 年 (令和 7 年) 5 月 20 日
<https://www.las2005.com>

●発行/ライブラリー・アド・サービス
〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL=03-6908-4643



「移動体験」のすすめ

三浦 宗一郎

僕たちは、「Choose Your Life！それでもなお、人生は選べる。」という言葉掲げ、生まれ育った環境やこれまでの経験によって「選べなさ」を感じる若者たちに、もう一度、自分の人生を選び直すきっかけを届ける活動をしています。

高校や少年院で行う「ハッシャダイスクール」、非大卒の若者向けのプログラム「ヤンキーインターン」、18歳で成人を迎える若者をエンパワメントする「CHOOSE YOUR LIFE FES #18歳の成人式」、若者を闇バイトや詐欺から守る『[騙されない為の教科書](#)』の制作・配布など、活動は多岐にわたります。

僕たちの活動の対象は当初、経済的に困窮している若者や非大卒の若者など、社会的には、いわゆる"持たざる者"とされる若者たちでした。しかし活動を続ける中で、たとえば、生徒全員が一流大学を目指すような進学校の先生から、プログラムの依頼をいただくようになりました。

実際に彼ら・彼女らに関わりはじめると、限られたコミュニティにおける社会的なプレッシャーや、外からは見えない人間関係の悩みなどによって、精神を病んでしまったり、中には自死を選ぶ若者たちもいると知りました。

そこには、若者の未来が、家庭の経済力や学歴だけでなく、経験や人とのつながり、信頼できる大人との関係性といった、目に見えないつながりの欠如によっても左右されているという現実があ

ります。そして、こうしたつながりが不足しているほど、自分の可能性を信じることは難しくなっています。現代では、非常に複雑な要因によって、多くの若者たちの可能性が閉ざされているのです。

活動において僕たちが最も大切にしていることがあります。それは「移動体験」です。

移動体験とは、生まれ育った環境から移動すること、新しい人と出会うこと、新しい景色と出会うこと、新しい言葉と出会うこと、そして新しい自分と出会うことを意味します。僕たちの活動はすべて、若者にとっての「移動体験」となるように設計しています。移動体験は、必ずしも物理的な移動だけに限られません。たとえば、本を読むことも、移動体験になると僕たちは考えています。一人の人が、あるいは多くの人が、人生を賭して本気で紡ぎ出した言葉が並ぶ本は、SNSに無数の言葉や情報が溢れる今の時代において、一層輝きを放っていると感じます。

僕自身、15歳のときに恩師から「本を読み」と半ば強引に薦められたことをきっかけに、初めて本を手に取りました。読めば読むほど、自分の世界がどんどん広がっていく不思議な感覚に包まれたあのときのことを、今でも鮮明に覚えています。

僕が恩師に薦められて初めて本を手にとったように、本と人をつなぐのは、やはり人なのだと思います。

本を選ぶことの喜びと、人生を選ぶことの喜びを、次の時代を生きる若者たちに伝えられる大人でありたいと、僕は強く思います。

(みうら そういちろう:一社HASSYADAI social)

「あいだ」に身を置き、とどまって考えるために ——シリーズ「あいだで考える」（創元社）

藤本 なほ子

シリーズ「あいだで考える」は、創元社より2023年4月に創刊した、10代以上すべての人に向けた人文書のシリーズです。

今の世の中には、とても複雑だったり両義的だったりして、どうしたらよいのか、どう考えたらよいかわからないような、しかし大切な問いが多くあります。そういった問いに対して性急に答えを出そうとするのではなく、両極の「あいだ」にとどまり、まずは観察し、じっくり考えるための多様な視点や考え方を提供するような本づくりをめざしています。そのため、さまざまな領域で「あいだ」に立っている実践者や当事者と呼ばれる立場の方々に著者としてお願いしています。

創刊当時の担当編集者二人でじっくり練りあげてつくった「創刊のこぼし」がコンセプトをよく表していますので、以下にご紹介します。

「創刊のこぼし」

私たちは、本を読むことで、他者の経験を体験できます。

本の中でなら、現実世界で交わることのない人々の考えや気持ちを知ることができます。

自分と正反対の価値観に出会い、想像力を働かせ、共感することができます。

本を読むことは、自分と世界との「あいだに立つ」考えてみることなのではないでしょうか。

さまざまな局面で分断が見られる今日、多様な他者とともに自分らしい生き方を模索し、皆が生きやすい社会をつくっていくためには、白でもなく黒でもないグラデーションを認めること、葛藤を抱えながら「あいだで考える」ことが、ますます重要になっていくのではないのでしょうか。

シリーズ「あいだで考える」は10代以上すべての人のための人文書のシリーズです。書き手たちは皆、物事の「あいだ」に身を置いて考えることの実践者。その生きた言葉は「あいだ」を考えるための多様な視点を伝えます。それを読むことは、自ら考える力、他者と対話する力、遠い世界を想像する力を育むことを助け、正解のない問いを考えてゆくためのねばり強い知の力となってゆくはずです。

先の見えない現代、10代の若者たちもオトナと呼ばれる世代も、不安やよりどころのなさを感じ、どのように生きてゆけばよいのか迷うことも多いはず。

本シリーズの一冊一冊が「あいだ」の豊かさを発見し、しなやかに、優しく、共に生きてゆくための案内人となりますように。そして、読書が生きる力につながる実感を持ち、知の喜びに出会っていただけますようにと願っています。



読みやすさのための工夫

全160ページ、本文2色刷を基本とし、本を読み慣れていない若い読者にも手にとりやすいよう、イラストを多用し、全体を4～6章程度に分け、さらに節や小見出しに分ける、章の初めには導入文をつける、注やまとめ、コラム、キーワード一覧などを1冊1冊の内容に応じて適宜設定するなど、「わからない」ために嫌になることなく、息継ぎをしながら読み進めていけるように工夫しています。

とはいえ、あまりに細切れにしたりまとめすぎでは「読書」というより「情報の摂取」になりかねません。そこは注意し、著者の文章のリズムや余白を大切に編集しています。

また、小学校で習わない漢字・音訓にはルビをつけています。原則として章初出ですが、難しい読みには繰り返すつける、小学校で習っても難読と思われる漢字には積極的につけるなど、読者の目線を大切にしています。

「わかりやすさ」について

このシリーズではわかりやすさを重視しています。しかしかといって、実際に複雑であること、その人の立場にならなければ理解しづらいこと、一見矛盾しているがその矛盾こそが大切であるような事柄などを簡単な形に改変したり、理路の「あいだ」を端折ったりしては本末転倒です。「こども」と呼ばれる世代でも……というより、その世代ならではの柔軟さや垣根のない捉え方ゆえに、言葉の意味や背景をしっかりと伝え、視点を提示し、考え方の筋道をゆっくりたどりさえすれば、どんなに複雑なことでもその人なりに理解できるはずだと信じています。著者の伝えたいことを損なわないまま読者の理解につなげられるよう、著者と相談しながら丁寧につくっています。

イラストと造本、作品案内、あいだ新聞

イラストとデザインの豊かさも大きな魅力です。イラストを描いていただく方は、1冊ごとにデザイナーの矢萩多聞さんの推薦を受けて決めています。本文の内容にただ絵を当てるのではなく、原稿を読み、ご自身の解釈と発想に沿って、著者の

言葉とつかず離れずで別の世界のラインをつくっていくような制作をお願いしています。

たとえば古田徹也『言葉なんていない?』では、アニメーション作家の土屋萌児さんが「言葉くん」のたどる言葉の旅という設定を考え、切り絵を貼り合わせた模型を撮影して装画・挿画とするなど、自由に楽しんで制作してくださいました。

四六判の天地を少し短くした、ころんとした手になじむサイズ感も好評です。企画立ち上げ時、矢萩さんと編集部で「しゅっとさせない」「身体性やノイズ、手の感触を大切にする」など、デザインの方針を定めました。本とは情報の媒体であるだけでなく、何より「読む」という身体経験です。いろんな感覚を働かせてほしいと願っています。

巻末の「作品案内」では、理解を深め視野を広げるための本、映画、漫画、活動などを紹介。また、初刷限定の付録「あいだ新聞」は著者の特別寄稿や著者紹介、編集の裏話などを載せ、矢萩さんがなんと手作業でリソグラフ印刷しています。懐かしいようで新しい手づくり感が人気です。

多彩なシリーズラインナップ

著者の個性や内容に合わせて、形式も柔軟に考えます。坂上香『根っからの悪人っているの?』や最首悟『能力で人を分けなくなる日』は著者や当事者と中高生との対話の記録。6月刊行予定の中井敦子、森岡素直『ユニヴァースのこども』は著者から届いた「声のおたより」をまとめた1冊で、女／男のどちらにもとどまらない二人が友人の力を得てこどもを迎える物語を語ります。

ほかに、不登校の経験も綴った栗田隆子『ハマれないまま、生きてます』、女性ホームレスであるいちむらみさこの『ホームレスでいること』、他者との、また自分自身とのかかわり方を考える田中真知『風をとおすレッスン』、翻訳の経験を伝える奈倉有里『ことばの白地図を歩く』と斎藤真理子『隣の国の人々と出会う』など、すでに10冊を刊行。以下続刊で、12冊めは水俣病患者の支援を続ける永野三智の『からだに宿る声を伝える』を刊行予定です。シリーズ特設サイトもどうぞご覧ください。



(ふじもと なほこ：フリー編集者)

学校図書館をひらき・つながる 「東京・学校図書館スタンプラリー」の現在地

「東京・学校図書館スタンプラリー」実行委員長 杉山 和芳

ひとりになりがちな学校司書

多くの学校の図書館では学校司書がひとりで働いているのではないのでしょうか。一人職種ということもあり、ふだん学校図書館のことを相談する相手が見つからないかもしれません。働いている場所によっては研修の機会が少なく、学校司書の仲間と情報交換ができない人もいることでしょう。

そんな学校司書に学びの場を提供するとともに、学校司書のつながりを作るイベントが「東京・学校図書館スタンプラリー」（以下、スタンプラリー）です。スタンプラリーについては『[本を選ぶ 高校図書館版 No.65](#)』（2018年5月発行、ウェブで閲覧可）で紹介してもらっているので、今回は2018年以降のスタンプラリーの取り組みを主に紹介していきます。

「東京・学校図書館スタンプラリー」とは

最近の取り組みを紹介する前に簡単にスタンプラリーについて説明をします。

スタンプラリーとは、「図書館を見ると学校がわかる!？」をキャッチコピーとして、学校の夏休み期間中に東京都内の国公立の学校図書館を広く一般に公開しているイベントです。

学校図書館は学校によって施設・設備・運営方法が大きく異なります。そのため、学校図書館を知るためには複数の学校図書館を見ることが大切です。ところが、さまざまな理由から学校図書館を外部の人が目できる機会は多くありません。

そこで、スタンプラリーでは学校図書館を多くの方に公開し自由に見てもらうことで、学校図書館への理解を深めてもらうとともに、学校図書館活動の裾野が広がることを目指しています。多くの参加者から「普段は見るできない学校図書館を見学できてうれしい」「学校図書館が好きになった」という反応をもらっており、スタンプラリー開催の意義を感じることが出来ます。

スタンプラリーには現職の学校司書も数多く参加してくれています。学校司書にとって他校を見学す

ることは大きな学びの機会になります。館内で初めて出会った司書同士が情報交換をしたりできるのもスタンプラリーに参加する魅力のひとつです。



スタンプラリーのいま

2012年に第1回が行われたスタンプラリーは、2024年に第11回の開催を行うことができました。とはいえ、その日々と決して順調というわけではありませんでした。

特に2020年に始まった新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、2020年と2021年には学校図書館公開のイベントを開催することができませんでした。そのような状況でも継続できることをみんなと考え、オンラインでできることに取り組むことにしました。第22回図書館総合展_ONLINEに参加し、ウェブ上でバーチャル学校図書館スタンプラリーとして学校図書館を紹介する動画の公開を行ったりしました。



2022年の試行を経て、コロナ禍が終息した2023年には正式にスタンプラリーの学校図書館公開を再開し、1,318名の参加者をお迎えできました。翌2024年には国立・都立・私立33校が学校図書館公開を行い1,421名の参加者がありました。これまでの累計参加者数は10,184名に達しています。

読書の世界を広げる



スタンプラリーでは参加者へのプレゼントとして、小中高生に参加校司書がおすすめする本を紹介するブックガイド小冊子を制作しています。これまでに12冊が発行されており、このブックガイドをもらうのを楽しみに毎年のように参加してくれる人もいます。実際に子どもに本を手渡す学校司書ならではの選書と紹介はとても好評です。

このブックガイドの好評を受けて、数年分のブックガイドをまとめた本も出版されています。『学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本300』と『もっとある！学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本220』（ぺりかん社刊）の2冊です。これらの本の読者からは、学校図書館での選書にとても役立つという声をいただいています。

作家講演会の開催

スタンプラリーでは作家を招いた中高生対象の講演会も開催しています。2016年に額賀滯さんをお迎えしたのを最初に、これまでに9名の作家に登壇してもらいました。

中高生にとっては憧れの作家と直に会うことのできる貴重な機会になります。作家から読書や創作についての話を聞くことで読書や学校図書館に親しみを持ってもらえるといいなと思って運営しています。

続けていくことの大切さ

スタンプラリーは2023年に「Library of the Year 2023 ライブラリアンシップ賞」を受賞しました。受賞理由は「小さな一歩から大きな飛躍を遂げた学校図書館の10年間の軌跡」とされています。スタンプラリーの10年以上におよび継続した学校図書館普及の取組が評価された結果です。

学校図書館を取り巻く現状は厳しく、スタンプラリーのイベントを継続して運営することも容易ではありません。ですが、スタンプラリーを継続することが将来の学校図書館の充実につながるという強い信念を持ち、今後も着実に歩みを進めていこうと考えています。

スタンプラリー参加のお誘い

スタンプラリーは2025年の夏に第12回を開催し、7月中旬から8月にかけて、多くの学校が図書館を公開します。参加校や日程等、イベントの詳細は[スタンプラリー・ホームページ](#)に随時掲載していきます。この夏、多くの方のご参加をお待ちしています。

(すぎやま かずよし：

東京都立立川国際中等教育学校司書)

作家講演会ゲスト一覧		
年度	氏名	所属
1	2016	額賀滯
2	2017	堀部聖一
3	2018	物木麻子
4	2019	小嶋隆太郎
5	2020	佐藤秀司
6	2021	伊吹有希
7	2022	志野さゆり
8	2023	遠藤幸馬
9	2024	青山威智子



DMかたろぐ

戦後、現代まで、6時点の地図を並べて、中東世界の变化を体感する。

1878 1920 1948 1967 2003 2024

中東近現代の150年くらべて楽しむ地図帳

関真興 編著

定価 1,980円 (本体1,800円+税10%)

山川出版社 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-13-13
TEL 03-3293-8131 FAX 03-3292-6469 <https://www.yamakawa.co.jp/>

レファレンスから選書まで幅広くご利用いただけます
生活・健康・栄養図書目録

最新版 2025 A5判/182頁/頒価本体286円+税

◆2024年11月現在刊行されているものと、近刊予定のものと合わせて約100社の約2,300点を紹介。
◆健康・栄養系の総記、栄養、疾病と食事療法、栄養に関する基礎医学、保健・衛生、健康、食品、調理、料理、生活系の総記、生活・家政学一般、家族の生活、保育・幼児教育、福祉、生活環境、衣生活、住生活、家庭科教育、両方の系統にまたがるもの、関連雑誌の20項目に改訂し、さらに各専門項目に細分化し、適書選択の便を図っております。

◆各書目ISBNコードを表示しました。

◆巻末に著者・書名索引並びに目録掲載出版社名簿。

家政学図書目録刊行会

かがるBOOK 科学漫画

サバイバルシリーズ〈2025年
新刊セット〉

新作&改訂版の新刊セット! 更新をお願いします



第2シリーズでアニメ化が決定した新作「海面上昇1・2」、「月」と第1シリーズでアニメ化された改訂版「南極」の新刊セット。



© Gomdori co., Kim Jeung-Wook, Han Hyun-Dong, Mirae N./Ludens Media/朝日新聞出版/NHK・NEP・東映アニメーション

文: ゴムドリCo.ほか/絵: 韓賢東ほか/全4巻

揃定価5,280円(揃本体4,800円+税10%)

NDC450ほか/B5変型判/平均181頁/ISBN978-4-02-332099-4

朝日新聞出版

稲葉茂勝/渡邊 優 著

万国博覧会



知られざる歴史とSDGsとのつながり

シリーズ・とは何か①

2025年4月
大阪・関西万博開催!

170年以上に及ぶ万博の歴史をその起源にまで遡って紐解き貴重な資料や珍しい写真類をふんだんに使って描く



A5判美装カバー・328頁 3080円

ミネルヴァ書房

京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL075-581-0296 ※価格税込

集団内の特殊なことば約13,200収録



集団語大辞典

米川明彦 編著

定価 30,800 円
(本体 28,000 円 + 税)

ISBN 978-4-490-10955-9

職業的集団(警察・銀行・新聞・テレビ・病院など)、反社会的集団(スリ・犯罪組織など)、被拘束集団(軍隊・囚人など)、学生集団(若者ことばなど)、趣味娯楽集団(鉄道オタク・ゲームなど) 189集団において、業務の効率化のため、外部から隠すため、会話の楽しみとして、仲間意識の高揚のためなどの理由から用いる「国語辞典」にほとんど載っていない語を豊富な用例とともに収録した、日本語彙研究の金字塔ともいえる大辞典!

株式会社 東京堂出版

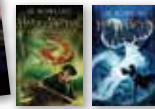
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-17
TEL 03-3233-3741 FAX 03-3233-3746

洋書専門取次

株式会社 三善



ペンギン・リーダー 60 セット
英国Penguin社発行 各60冊
全8レベルの多読リーダー



ハリー・ポッターセット

魔法ファンタジー『ハリー・ポッター』原書

洋書読み物
セット紹介の
WEBサイトは
こちらから



eigo-meisaku.com

英語名作ライブラリー



〒167-0032 東京都杉並区天沼2-2-3

TEL : 03-3398-9163 FAX : 03-3398-9170

J.S. バッハの
オルガン音楽
全曲解説ピーター・ウィリアムズ 著
廣野 嗣雄・馬淵 久夫 監訳

The Organ Music of J.S. Bach

Remond Edition

by Peter Williams

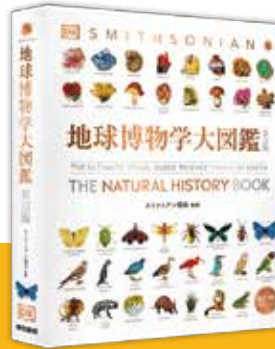
朝倉書店

菊版 612 頁
定価 13,200 円 (本体 12,000 円)
ISBN978-4-254-68028-7

朝倉書店

東京都新宿区新小川町 6-29
TEL 02-8707 TEL03-3260-7631Peter Williams 著
廣野 嗣雄・馬淵 久夫 監訳

バッハのパイプオルガン
曲を全て網羅!
オルガニストやバッハ愛好家
のみならず、すべての音楽
ファンにとって必携の書。



地球博物学大図鑑

THE NATURAL HISTORY BOOK

DK出版

地球博物学大図鑑

THE NATURAL HISTORY BOOK

DK出版

地球博物学大図鑑

THE NATURAL HISTORY BOOK

DK出版

地球博物学大図鑑

THE NATURAL HISTORY BOOK

DK出版

地球博物学大図鑑

THE NATURAL HISTORY BOOK

DK出版

地球博物学大図鑑

THE NATURAL HISTORY BOOK

DK出版

地球博物学大図鑑

THE NATURAL HISTORY BOOK

DK出版

地球博物学大図鑑

THE NATURAL HISTORY BOOK

DK出版

世界最大の
自然博物館 開館!
生命の驚異的な多様性が
この1冊に!
世界75万部のベストセラー
待望の新訂版



地球博物学大図鑑 新訂版

スミソニアン協会監修

オールカラー・672頁 定価11,000円(税込)

◀詳しい内容はこちらから

東京書籍